

大阪湾岸の生物部会活動報告（その3）

（文責：りんくう翔南高等学校 村上智加子）

—2019年度 海岸生物観察会の報告—

6月16日（日） 和歌山市加太 城ヶ崎



いよいよ夏本番の暑さの中、7校から教員11名、生徒14名、OBの先生も参加いただき、充実した1日になりました。

10時に南海電鉄加太駅に集合し、海岸に向かいました。干潮が午後0時過ぎだったので、先に昼食を済ませるチームや、真っ先に海に入っていくチームなど思い思いに観察開始。広い海岸に散らばって、あちこちで大阪湾海岸生物研究会のメンバー

の方に質問しながら生き物を探しました。

この日観察された生き物は、海藻64種、被子植物(アマモ)1種、海綿動物5種、刺胞動物7種、扁形動物4種、紐形動物1種、苔虫動物3種、軟体動物(多板類)9種、軟体動物(腹足類)66種、軟体動物(二枚貝類)9種、軟体動物(頭足類)1種、星口動物1種、環形動物8種、節足動物35種、棘皮動物10種、脊索動物(ホヤ類)6種、脊索動物(魚類)15種(現地で確認された種数)でした。

本年度最後の海岸生物観察会でしたが、毎年継続して参加してくれている学校や、参加される中で海の生き物に興味を持って、何度も通ってくださる先生もありました。どんな質問にも丁寧に対応していただける大阪湾岸生物研究会の方々と一緒に活動させていただけることで、私自身も成長させていただいています。気が早いですが、来年度の観察会を楽しみにしています。



ツノマタ



イワヒゲ



ヒライソガニ